

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年2月20日

事業所名 草笛学園

保護者等数（児童数）48名 配布数28名 回収数24名 割合86%

	チェック項目	はい	どちら		わかんない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			ともいえない	いいえ			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2	0	1	・園庭の広さはのびのびと活動ができるので良い。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	8	0	4	・専門性はあると思うが、個々の支援の適切さは分からない。 ・怪我をした状況を見られていない配置になっている。 ・できれば、もっと子ども一人に対する職員数を増やしてほしい。 ・職員は人手不足で多忙。負担が大きいと感じる。	・制度上の配置人数は満たしているものの、より丁寧に関われるように、人的配置と、危険予知を行ないながら職員が支援を行なえるように質の向上にも努めていきたいと思います。 ・関連団体との協議で、児童期支援の体制整備の充実を意見として挙げていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	8	2	1	・教室の位置、園庭の場所など靴箱から見えて、子どもにとってはよい。 ・バリアフリーに関してはよくない。	・建設してから45年が経ち、今年度、改築工事を行ないません。 ・バリアフリーや死角への対応も含めて設計を行なっています。子ども達にとってよりよい環境になることに努めます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	5	0	0	・死角が多く、危険に思うことがある。 ・部屋の広さが狭い。 ・建物が古い。	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	23	1	0	0		・草笛学園では、子どもたちの発達・特性を考慮し、主体性を尊重しながら、生活基盤・人との関わり・運動・コミュニケーション・行動調整などの向上をねらっています。このことが、ガイドラインに記載されている項目です。 ・『『できること』をめざす前の『できるようになりたい』という動機づけを大切に育てています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	1	0	4		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	2	0	1	・とても丁寧な関わり方をしています。	
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか	20	4	0	0	・身体全体、手指を使う活動がしっかりと組み込まれている。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	12	6	・交流する機会を作ってほしい、増やしてほしい。 ・時に交流があるとよい。 ・くさぶえっ子まつりで、兄弟児等とのふれあいがある程度。	・外来教室の児童との場の共有やかかわりの機会はあり、交流の場として考えていきます。 ・同法人施設や近隣保育所との交流も今後、検討していきます。
保護者への	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	3	0	0	・毎年、新年度に行なわれている。	・運営について、個別支援計画について等、説明はしています。今後も一人ひとりに十分伝わるように、適切さと工夫をしていきたいと思います。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を	21	3	0	0	・家庭訪問のときに、しっかりと説明されている。	

		示しながら、支援内容の説明がなされたか							
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	17	3	0	4		・個人懇談のことか?	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか	21	3	0	0		・家と園とのギャップがあり、子どもの成長が分かりにくい。 ・職員と話す機会があまりない。 ・お帳面やおたよりを通してでも、日々の様子を共有できていると思う。 ・気になることがあれば、話ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、お子さんの様子、変化、取り組みについて、お話しする機会、読んでもらうお便り等でお伝えしています。</li> <li>・具体的な様子が分からないことや、話す回数が少ないと感じられえいる方もおられるようです。できるだけ、機会を作ったり伝わる工夫をしたりしていきます。</li> <li>・クラス担任に限らず、どの職員にでも声をかけてもらえたらと思います。</li> <li>・今回の自己評価を元に、園のあり方や支援のあり方を見直し、より良いものになりたいと思います。</li> </ul>
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0	0		・多忙のため、先生と話す機会が少ない。 ・年2回、面談はできるが、少ないと思う。 ・些細な心境を察知して、連絡をもらえる。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	1	2	0		・参加が出来ていないことが多い。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	3	0	2		・相談することがあまりない。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	2	0	1		・園でどうしているかが分からない。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	0	0	0		・自己評価の結果は、まだ発信されていない。 ・ブログなどで日々の園の様子が見られて、分かるのは良い。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	0	0	0			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	3	1	2		・感染症罹患者の情報が1,2人を出してほしい。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	0	0	0		・毎月おこなわれている。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	24	0	0	0		・毎日、楽しく通っている。とても楽しみにしている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	22	1	0	1		・支援には満足だが、安全面では不安。 ・親子とも成長させてもらい、とても満足。何かあったら相談できるという安心感がある。 ・子どもに寄りそい、いつも丁寧にかかわってもらっている。	

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。